



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 株式会社住友倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9303 URL <https://www.sumitomo-soko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野 孝則
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 星野 公彦 TEL 06-6444-1183
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	141,979	△1.1	7,944	△6.2	10,394	△6.2	6,494	△6.3
2020年3月期第3四半期	143,565	2.9	8,473	29.3	11,082	23.1	6,932	72.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 20,212百万円 (231.9%) 2020年3月期第3四半期 6,089百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	77.85	77.63
2020年3月期第3四半期	81.56	81.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	341,991	186,345	52.4
2020年3月期	318,458	171,976	51.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 179,314百万円 2020年3月期 165,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	18.00	—	29.00	47.00
2021年3月期	—	24.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※2020年3月期の期末配当金の内訳 普通配当19円00銭 創業120周年記念配当 10円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,000	△1.4	10,500	△5.4	12,800	△5.9	8,100	△9.5	97.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、(添付資料)12ページ「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	84,386,615株	2020年3月期	84,386,615株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,711,060株	2020年3月期	838,377株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	83,422,493株	2020年3月期3Q	85,000,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、(添付資料)5ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報)	13
(参考)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、国内では新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、企業収益の減少が継続するとともに企業の設備投資も落ち込みましたが、アジア及び米国向けの輸出や生産が増加に転じるなど、改善の兆しがみられました。また、世界経済は同感染症拡大により経済活動が抑制されるなど、引き続き厳しい状況ではあるものの、中国や米国など一部で持ち直しの動きがみられました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、2020年5月に策定した2020年度から2022年度までの中期経営計画の事業戦略に基づき、事業基盤の強靱化に向けた取組みを推進しております。物流事業では、愛知県犬山市及び埼玉県羽生市において、文書等情報記録媒体を取り扱う専用施設をそれぞれ稼働させたほか、神戸市・ポートアイランドにおいて新倉庫建設を進め、激甚化する自然災害への備えを一層強化した施設を建設するなど、倉庫施設の再構築に取り組みました。海運事業では、輸送数量の拡大、運航経費の削減等による採算の改善を目指し、不動産事業では、賃料水準の維持等に努めてまいりました。

このような取組みのもと、当第3四半期連結累計期間につきましては、営業収益は、eコマース関連輸送の取扱拡大等の増収要因はありましたが、一方で新型コロナウイルス感染症の影響による荷動き停滞等の減収要因があり、1,419億79百万円(前年同期比1.1%減)となりました。営業利益は、同感染症の影響による収益減に加え、前連結会計年度及び当第3四半期連結累計期間に稼働した倉庫施設等の減価償却費の増加などにより、79億44百万円(同6.2%減)となりました。また、経常利益は103億94百万円(同6.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は64億94百万円(同6.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①物流事業

倉庫業では、新型コロナウイルス感染症の影響による荷動き停滞により倉庫入出庫高は減少しましたが、前連結会計年度及び当第3四半期連結累計期間に稼働した倉庫施設の寄与や文書等情報記録媒体の取扱増加により倉庫保管残高は総じて堅調に推移したことから、倉庫収入は200億54百万円(前年同期比1.1%増)となりました。港湾運送業では、同感染症の影響により一般荷捌の取扱いが大幅に減少したことに加え、コンテナターミナル業務の低調によりコンテナ荷捌の取扱いも減少したことなどから、港湾運送収入は270億68百万円(同7.1%減)となりました。国際輸送業では、航空貨物の取扱いにおいて、同感染症の影響による国際線の運航減便等に伴い輸送需給が逼迫し、航空運賃が上昇するなど増収要因はありましたが、プロジェクト輸送及び海外子会社における取扱いが前年同期を下回ったことから、国際輸送収入は302億54百万円(同1.0%減)となりました。陸上運送業及びその他の業務では、eコマース関連輸送の取扱拡大により陸上運送収入が増収となったことから、陸上運送ほか収入は410億70百万円(同7.2%増)となりました。

以上の結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期並みの1,184億47百万円(前年同期比0.5%増)となりましたが、同感染症による影響に加え、人件費や倉庫施設の減価償却費の増加等により、営業利益は78億92百万円(同6.7%減)となりました。

②海運事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、日本・韓国発北米向けコンテナは第3四半期に入り輸送数量は回復してまいりましたが、第2四半期連結累計期間における輸送数量の減少に加え、円高の影響もあり、営業収益は166億2百万円(前年同期比11.9%減)となりました。また、コンテナ輸送数量の減少に伴う回送費などのコンテナ関連費用の減少や燃料油価格の下落等により運航経費は減少しましたが、同感染症の影響に伴い第2四半期連結累計期間の業績が低迷したことにより、3億98百万円の営業損失(前年同期は営業損失2億72百万円)となりました。なお、当第3四半期(3か月)につきましては、輸送数量の回復等により5四半期振りに黒字化しております。

③不動産事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の賃貸用不動産物件の稼働率が低下したものの、前連結会計年度に取得した賃貸用不動産物件や既存物件における新規テナントの入居が寄与したことなどから、営業収益は前年同期並みの80億89百万円(前年同期比0.2%増)となりました。営業利益は、不動産取得税の発生がなかったことなどから営業費用が減少し、41億40百万円(同0.9%増)となりました。

(注) 1. 上記の各セグメントの営業収益には、セグメント間の内部営業収益11億69百万円(前年同期12億円)を含んでおります。

2. 上記の各セグメントの営業利益は、各セグメントに帰属しない全社費用等36億90百万円(前年同期38億13百万円)控除前の利益であります。

セグメント別の営業収益内訳

内訳	前第3四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	前年同期比増減	
			増減額	比率%
物流事業	117,842百万円	118,447百万円	604百万円	0.5
(倉庫収入)	(19,834)	(20,054)	(219)	(1.1)
(港湾運送収入)	(29,146)	(27,068)	(△2,078)	(△7.1)
(国際輸送収入)	(30,544)	(30,254)	(△290)	(△1.0)
(陸上運送ほか収入)	(38,316)	(41,070)	(2,753)	(7.2)
海運事業	18,849	16,612	△2,237	△11.9
(海運事業収入)	(18,849)	(16,612)	(△2,237)	(△11.9)
不動産事業	8,073	8,089	15	0.2
(不動産事業収入)	(8,073)	(8,089)	(15)	(0.2)
計	144,766	143,148	△1,617	△1.1
セグメント間内部営業収益	△1,200	△1,169	31	—
純営業収益	143,565	141,979	△1,586	△1.1

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、借入金の返済及び設備投資等により「現金及び預金」が減少しましたが、新倉庫の建設等による有形固定資産の増加及び株式相場の回復に伴う「投資有価証券」の増加等により、前期末比7.4%増の3,419億91百万円となりました。負債合計は、借入金は減少しましたが、社債発行及び投資有価証券の評価差額に係る「繰延税金負債」の増加等により、前期末比6.3%増の1,556億46百万円となりました。純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う「利益剰余金」の増加に加え、株式相場の回復に伴う「その他有価証券評価差額金」の増加等により、前期末比8.4%増の1,863億45百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により150億91百万円の増加(前年同期は103億26百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出及び定期預金の預入による支出等により214億42百万円の減少(前年同期は230億47百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入がありましたが、借入金の返済による支出及び配当金の支払い等により42億20百万円の減少(前年同期は131億8百万円の増加)となりました。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フローは、以上の結果に「現金及び現金同等物に係る換算差額」(△2億61百万円)を加えた全体で108億33百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、237億15百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間(在外連結子会社の決算日は9月末日)におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、物流事業では倉庫の荷動きが低調に推移するとともに、港湾運送や国際輸送の取扱いが減少し、また、海運事業におきましても日本・韓国発北米向けコンテナ輸送数量が減少いたしました。一方で、倉庫保管残高が堅調に推移したほか、eコマース関連輸送の取扱いが伸長し、また、海運事業では第3四半期に入り輸送数量回復の動きが見られるなど、業績は想定を上回って推移しました。

同感染症による経済活動への影響は、国内及び海外ともに通期にわたることを前提としておりますが、今後の当社グループの業績に及ぼす影響は限定的と想定され、また、第4四半期につきましても、物流事業では引き続き文書等情報記録媒体の取扱いやeコマース関連輸送の取扱いが堅調に推移し、海運事業では運賃水準の改善、輸送数量の回復が見込まれるため、通期連結業績予想を以下のとおり修正することといたしました。

2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (注)	187,000	9,500	11,800	7,200	86.15
今回修正予想(B)	189,000	10,500	12,800	8,100	97.10
増減額(B-A)	2,000	1,000	1,000	900	—
増減率	1.1%	10.5%	8.5%	12.5%	—
(参考)前期実績 (2020年3月期)	191,721	11,101	13,596	8,951	105.74

(注) 2020年11月6日発表

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,367	34,213
受取手形及び営業未収入金	21,851	22,542
販売用不動産	27	20
仕掛品	10	2
その他	5,774	5,792
貸倒引当金	△121	△101
流動資産合計	63,911	62,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77,487	82,519
機械装置及び運搬具(純額)	4,875	5,282
船舶(純額)	4,261	4,604
工具、器具及び備品(純額)	1,000	1,132
土地	64,048	64,169
建設仮勘定	8,239	7,510
その他(純額)	3,107	2,657
有形固定資産合計	163,020	167,876
無形固定資産		
のれん	44	31
借地権	5,125	5,140
ソフトウェア	1,284	1,292
その他	233	214
無形固定資産合計	6,687	6,679
投資その他の資産		
投資有価証券	77,232	97,127
長期貸付金	330	481
繰延税金資産	535	461
その他	6,993	7,151
貸倒引当金	△253	△256
投資その他の資産合計	84,839	104,964
固定資産合計	254,547	279,521
資産合計	318,458	341,991

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	12,670	13,555
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
短期借入金	19,747	17,467
未払法人税等	1,243	1,210
賞与引当金	1,823	1,142
その他	7,133	7,671
流動負債合計	47,619	46,046
固定負債		
社債	43,000	53,000
長期借入金	25,070	19,803
繰延税金負債	16,271	22,437
役員退職慰労引当金	54	54
退職給付に係る負債	4,800	5,047
長期預り金	8,076	7,969
その他	1,588	1,286
固定負債合計	98,862	109,599
負債合計	146,482	155,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,922	14,922
資本剰余金	12,115	12,341
利益剰余金	106,514	108,572
自己株式	△1,191	△2,393
株主資本合計	132,361	133,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,030	44,793
為替換算調整勘定	2,196	1,386
退職給付に係る調整累計額	△298	△309
その他の包括利益累計額合計	32,929	45,870
新株予約権	294	289
非支配株主持分	6,391	6,740
純資産合計	171,976	186,345
負債純資産合計	318,458	341,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益		
倉庫収入	19,834	20,054
港湾運送収入	28,843	26,826
国際輸送収入	30,542	30,251
陸上運送収入	29,103	32,158
海運収入	18,376	16,147
物流施設賃貸収入	4,181	4,294
不動産賃貸収入	7,599	7,578
その他	5,084	4,666
営業収益合計	143,565	141,979
営業原価		
作業諸費	88,952	87,109
人件費	16,891	17,406
賃借料	7,741	7,837
租税公課	1,714	1,785
減価償却費	5,756	6,291
その他	6,591	6,330
営業原価合計	127,648	126,760
営業総利益	15,916	15,219
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	4,153	4,143
賞与引当金繰入額	181	205
退職給付費用	152	191
のれん償却額	13	13
その他	2,942	2,720
販売費及び一般管理費合計	7,443	7,274
営業利益	8,473	7,944
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,515	2,258
持分法による投資利益	228	141
その他	347	502
営業外収益合計	3,090	2,903
営業外費用		
支払利息	319	300
その他	161	152
営業外費用合計	481	453
経常利益	11,082	10,394

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	28	80
投資有価証券売却益	57	—
負ののれん発生益	—	90
新株予約権戻入益	19	—
特別利益合計	105	171
特別損失		
固定資産除却損	162	155
災害による損失	113	—
特別損失合計	275	155
税金等調整前四半期純利益	10,913	10,410
法人税、住民税及び事業税	3,029	3,012
法人税等調整額	385	161
法人税等合計	3,415	3,173
四半期純利益	7,497	7,237
非支配株主に帰属する四半期純利益	564	743
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,932	6,494

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	7,497	7,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△496	13,834
為替換算調整勘定	△638	△802
退職給付に係る調整額	△96	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△177	△45
その他の包括利益合計	△1,408	12,974
四半期包括利益	6,089	20,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,511	19,435
非支配株主に係る四半期包括利益	577	776

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,913	10,410
減価償却費	6,086	6,610
のれん償却額	13	13
引当金の増減額(△は減少)	△593	△728
受取利息及び受取配当金	△2,515	△2,258
支払利息	319	300
持分法による投資損益(△は益)	△228	△141
固定資産売却損益(△は益)	△28	△80
固定資産除却損	162	155
投資有価証券売却損益(△は益)	△57	—
負ののれん発生益	—	△90
売上債権の増減額(△は増加)	△585	△740
仕入債務の増減額(△は減少)	222	985
その他	961	1,557
小計	14,670	15,992
利息及び配当金の受取額	2,685	2,364
利息の支払額	△318	△288
法人税等の支払額	△6,710	△2,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,326	15,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,291	△9,592
定期預金の払戻による収入	5,167	1,013
有形固定資産の取得による支出	△14,333	△12,026
有形固定資産の売却による収入	32	96
無形固定資産の取得による支出	△373	△394
投資有価証券の取得による支出	△36	△32
投資有価証券の売却による収入	68	50
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△391
貸付けによる支出	△21	△171
貸付金の回収による収入	34	68
その他	△292	△63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,047	△21,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,713	2,036
短期借入金の返済による支出	△3,881	△2,336
長期借入れによる収入	11,547	—
長期借入金の返済による支出	△7,601	△7,429
社債の発行による収入	15,000	10,000
自己株式の取得による支出	△2,000	△1,281
配当金の支払額	△3,844	△4,271
その他	△824	△938
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,108	△4,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△240	△261
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	147	△10,833
現金及び現金同等物の期首残高	24,161	34,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 24,308	※ 23,715

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
現金及び預金勘定	36,289百万円	34,213百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△11,981百万円	△10,497百万円
現金及び現金同等物	24,308百万円	23,715百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2020年11月6日開催の取締役会の決議に基づき、当第3四半期連結累計期間に自己株式927,800株の取得を行いました。

自己株式の増加額 1,280百万円

(参考) 2020年11月6日開催の取締役会での決議内容

1. 自己株式取得

- (1) 取得し得る株式の総数 1,500,000株を上限とする
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.79%)
- (2) 取得し得る株式の総額 30億円を上限とする
- (3) 取得期間 2020年11月9日から2021年3月12日まで

2. 自己株式消却

- (1) 消却する株式の数 上記1.により取得する自己株式全量
- (2) 消却予定日 2021年3月31日

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社においては、税金費用の計算にあたり、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	海運事業	不動産事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	117,457	18,376	7,730	143,565	—	143,565
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	384	472	343	1,200	△1,200	—
計	117,842	18,849	8,073	144,766	△1,200	143,565
セグメント利益又は損失(△)	8,454	△272	4,104	12,287	△3,813	8,473

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,813百万円のうち、各報告セグメントに配分していない全社費用は△3,751百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	海運事業	不動産事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	118,128	16,147	7,703	141,979	—	141,979
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	319	464	386	1,169	△1,169	—
計	118,447	16,612	8,089	143,148	△1,169	141,979
セグメント利益又は損失(△)	7,892	△398	4,140	11,634	△3,690	7,944

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,690百万円のうち、各報告セグメントに配分していない全社費用は△3,675百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考)

セグメント別営業収益及び営業利益の通期予想

(1) 営業収益

(単位：百万円)

	前期実績 (A)	当期予想 (B)	増 減(B)-(A)		11/6発表 当期予想(C)	増 減 (B)-(C)
			金 額	比 率		
物流事業	156,816	157,000	183	0.1%	153,000	4,000
海運事業	25,790	22,700	△3,090	△12.0%	24,700	△2,000
不動産事業	10,767	10,800	32	0.3%	10,800	—
計	193,374	190,500	△2,874	△1.5%	188,500	2,000
セグメント間 内部営業収益	△1,653	△1,500	153	—	△1,500	—
純営業収益	191,721	189,000	△2,721	△1.4%	187,000	2,000

(2) 営業利益

(単位：百万円)

	前期実績 (A)	当期予想 (B)	増 減(B)-(A)		11/6発表 当期予想(C)	増 減 (B)-(C)
			金 額	比 率		
物流事業	10,945	10,000	△945	△8.6%	9,500	500
海運事業	△321	0	321	—	△500	500
不動産事業	5,475	5,500	24	0.4%	5,500	—
計	16,099	15,500	△599	△3.7%	14,500	1,000
調整額	△4,998	△5,000	△1	—	△5,000	—
営業利益	11,101	10,500	△601	△5.4%	9,500	1,000